

令和8年度 墨田区予算編成に 関する要望書を 山本区長に提出しました

国内外の社会経済情勢の急速な変化を的確に見極め、更なる積極的な投資を行うことを求めました。



主要要望項目

- ・学校給食費の徴収免除の継続
- ・プレミアム付デジタル商品券の継続的な実施
- ・複合災害に備えた対策、支援が必要な住民への個別支援計画の着実な進展
- ・産業観光マスタープランに基づく中小企業等への支援
- ・学童クラブの待機児童解消、放課後子ども教室の確実な計画推進、民間学童への補助制度の創設
- ・健康寿命延伸へ向けた高齢者の健康づくりの推進
- ・私立幼稚園の特定負担額補助制度の創設及び教育充実に関する予算拡充
- ・学校及び公共施設への温水洗浄機能付き便座の設置

この他、重点要望21項目、要望49項目を提案し実現を求めました。

常任委員会TOPICS

地域産業都市委員会



左から／あべよしたけ委員、佐藤篤委員、加藤ひろき委員

大横川親水公園における指定管理者制度導入について
公園内（魚釣り場等）で利用者の安全確保のために近隣住民の方に尽力頂いている現状を踏まえ、今後も力を発揮して頂くために指定管理者の募集要項に「区内人材の活用」を盛り込むことを要望。記載し区民雇用・区内事業の活用に繋げていくという答弁を得ました。

区内循環バスのルート見直し案について

東向島・向島・墨田を運行するルート変更に関し、前回示され慎重な検討を求めた大幅な短縮案ではなく、既存ルートに近い形となったことは評価するも、押上駅への乗り込みなど、柔軟に検討していくことを要望しました。

企画総務委員会



左から／大門しろう副委員長、堀よしあき委員長、坂井ユカコ委員

庁舎1・2階及びすみだリバーサイドホール改修工事請負契約について
同請負契約における複数業者へ入札を促す努力や、工事中の調整体制について確認。また同契約後、すぐに工事が始まるとのことだが、来庁者への影響が大きくならないように要望を行うと共に、区民への周知や工事中の安全確保についても徹底するよう要望を行いました。

墨田区シティプロモーション戦略プランの改定について
現行プランにおいてはシックプライドの醸成や、区民の愛着度向上は一定の成果が上がったと考えるが、区外へのイメージ発信や区の魅力度向上については課題であると考え、今後、課題解決のため、著名人によるPR大使の活用について要望を行いました。

子ども文教委員会



左から／しもむら緑委員、福田はるみ委員長、稲葉かずひろ委員

墨田区内における都立児童相談所の新設について
令和9年度に子育て支援総合センター内に都立児童相談所の拠点が新設されます。児童虐待の対応や、困難を抱える家庭を早期に支援するため、専門性を生かした包括的な支援体制が整備されます。都と区の役割分担の確認等を行い実効的な施設になるように求めました。

小中学校における温水洗浄機能付便座の導入について

小中学校の改修計画の中で、トイレに関して洋式率100%を目指すと言われています。現在の進捗は約85%となっているため、早急に目標の100%になるように求めました。更に、家庭や公共施設等で主流となっている温水洗浄機能付き便座の全校設置を求めました。

区民福祉委員会



左から／小林しょう副委員長、井上ひろき委員

区内全世帯に【1万円相当】の商品券等を配布します
長引く物価高騰の影響から区民の皆様の生活を守るため、全世帯を対象とした取り組みです。所得制限はありません。ご自身のライフスタイルに合わせて複数のメニューより選択可能です。案内通知の発送は、2月中旬頃より順次発送を予定しています。

親亡き後の不安解消へ。障害者施設の整備を求める陳情
障害者の重度化や家族の高齢化を見据え、入所施設やグループホームの早期整備を求める陳情を採択しました。医療的ケア児や強度行動障害の方も受け入れ可能な複合型施設の設置、およびニーズに基づいた計画的な住まいの確保を、区に対して働きかけてまいります。



しもむら 緑

令和8年も教育・予防医療・防犯防災に尽力し、国の未来を支え、希望ある街づくりを進めてまいります。本年もよろしくお願いたします。

☑ 子ども文教委員会 委員

🏠 亀沢4丁目22-8-608
☎ 080-2443-0212



佐藤 篤

4期目の公約達成状況は90点でした。議員として15年、選出いただいた区民の皆様のご公正と信義を大切に、丁寧に仕事をします。

☑ 墨田区議会議長

🏠 京島3丁目9-10-101
☎ 090-8567-8293



福田 はるみ

今年も健康で笑顔で過ごせる一年になりますようお願いしています。笑門には福春来り。スマイルすみだ

☑ 子ども文教委員会 委員長

🏠 業平4丁目5-16
☎ 03-3618-6125

紹介所属議員
&
新年のご挨拶



あべ よしたけ

新年あけましておめでとうございます。教育と子育て、暮らしの安心を大切に、地域とともに住み続けたい墨田のまちづくりに取り組んでまいります。

☑ 墨田区基本計画調査委員会 副委員長

🏠 京島3丁目53-2
☎ 090-9324-1582



大門 しろう

本年もよろしくお願いいたします。子供たちとすみだの未来のため、一歩ずつ着実に施策の実現に向けて歩みを進めていきます!

☑ 企画総務委員会 副委員長

🏠 文花2丁目3-7
☎ 080-4128-6594



堀 よしあき(無所属)

あけましておめでとうございます。責任世代の一人として、持続可能な墨田区を目指し、行政改革や議会改革を更に推進します。

☑ 企画総務委員会 委員長

🏠 墨田4丁目19-10
☎ 090-7218-9569



坂井 ユカコ

心身ともに健やかで笑顔あふれる墨田へ。地域の絆を大切に、誰もが安心して暮らせる区政を進めます。今年もよろしくお願いいたします。

☑ 自由民主党・無所属 幹事長
☑ 議会運営委員会 委員長

🏠 東駒形2丁目2-4 ☎ 090-3617-4313



小林 しょう

住みよい「すみだ」をあなたとともに。今年も現場第一で走り抜きます。変わらぬご指導ご鞭撻を何卒宜しくお願いいたします。

☑ 区民福祉委員会 副委員長

🏠 東向島6丁目48-8-102
☎ 090-8174-1663



稲葉 かずひろ

あけましておめでとうございます。新しい年も常に前向きに、そして謙虚に、地域のために尽力します。本年も宜しくお願いします。

☑ 議会改革特別委員会 副委員長

🏠 吾妻橋1丁目23-20 (自民党控室)
☎ 080-9462-1989



加藤 ひろき

新年明けましておめでとう御座います。『あなたの声で、すぐ動!』全力で駆けつけて参ります。本年もご指導宜しくお願い致します。

☑ 自由民主党・無所属 副幹事長

🏠 東向島3丁目15-21-502
☎ 090-5399-0322



井上 ひろき

デジタル化で生活を便利に、民泊の諸課題には現場の声で向き合います。時代の変化に即した実効性のある解決策を形にします。

☑ 自由民主党・無所属 副幹事長

🏠 文花2丁目4-7-2F
☎ 070-8998-9021

会派HP



Facebook



YouTube



本会議の
コチラ!

墨田区議会HP



スマホやパソコンで
議会活動をご覧いただけます。

お気軽にご意見をお寄せください。
墨田区議会自由民主党

🔍 <https://jimin-sumida.jp/>

TOPICS
民泊・旅館
規制強化

民泊の監視・指導強化、
自民党が本気で変える！

今年度の最重要課題の一つである住宅宿泊事業法・旅館業法の条例が可決され、住民の安心・安全を守るため、行政に監視体制の徹底強化を求める付帯決議を付しました。今後も実効性ある対策を強く要望してまいります。

また、会派で京都市を訪問し、全国的にも先進的な民泊対策を視察しました。区域ごとの規制や監視体制の強化、24時間通報窓口など、生活環境への影響を抑える仕組みを学ぶことができました。こうした知見を墨田区の議論にも活かし、適切なルールづくりと地域負担の軽減、観光との調和を図る政策を推進します。



会派で京都市を訪問し、先進的な民泊対策の取組を視察。地域の安心・安全と観光調和の政策づくりに活かします。

【付帯決議 POINT】

1. 早期に規則・要綱を整備し、指導・立入検査・業務停止命令等の手順を明確化すること
4月1日の条例施行の前に、必要な規則や実施要綱等の策定・改正を行い、区民、事業者への周知徹底を図ることを求めました
2. 不適切事業者の取締り強化へ、監視員の増員やパトロールなど庁内横断の監視体制を強化すること
本付帯決議を受け、全庁の部長級以上の幹部職員等が招集され、「第一回民泊対策全庁調整会議」が開催されました
3. 終日稼働の相談・通報窓口を設置し、周知徹底すること
視察した京都市では、大手旅行会社と連携した民泊相談窓口を設置しています。24時間稼働の緊急通報窓口を設けることで、地域住民の不安を解消することを目的としています
4. 毎年度の実態調査と議会報告を行い、必要に応じ条例を見直すこと
条例を制定して終わりではなく、この条例がどのような影響・効果を及ぼしているのか、毎年度検証することを求めました

「付帯決議」とは

付帯決議とは、条例や予算などの議案を可決する際に、議会として行政へ特に求めたい事項を示す決議です。条例そのものには書き込めない運用面での要望や、体制強化への指針を明確に伝える役割があります。法的拘束力こそありませんが、行政が重く受け止めるべき「議会の公式な意思」として扱われます。

今回の民泊関連条例に付した付帯決議では、監視体制の強化、24時間の相談・通報窓口の設置、不適切事業者への厳正対応、毎年度の実態調査と議会報告など、地域の安心・安全を守るために重要な点を議会として区に明確に求めました。

墨田区における民泊制度が住環境に悪影響を及ぼさないよう、今後も実効性ある対策を継続して要望してまいります。

【条例POINT 新規(2026年4月～)施設のみ適用】

2. 周辺住民への事前説明	
旅館 周辺10メートルへの住民説明会の開催または戸別訪問	民泊 周辺10メートルへのポスティング
↓	
周辺20メートルへの住民説明会の開催または戸別訪問	
4. 違反者への罰則	
民泊	区独自の罰則規定なし※法律による罰則あり
↓	
事業者名の公表 (法令違反の事業者について氏名等を公表)	
1. 管理者の常駐義務	
旅館 規定なし 10分程度で駆けつけ	民泊 緊急時に30分程度で駆けつけ (区ガイドライン)
↓	
管理者等の常駐を義務付け	30分以内に駆けつけて対応(条例)
3. 実施の制限	
民泊	年間180日間のみ営業可※旅館業は法律に沿って365日の営業が可能
↓	
金曜午後～日曜午前のみ営業可 管理者が常駐すれば実施の制限を緩和	

新年のご挨拶



墨田区議会 議長
佐藤 篤

区民の皆様におかれましては、新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。また、新成人の皆様にも心よりお祝い申し上げます。「世論の分断」が叫ばれるいま、国民主権の意義を踏まえつつ、先人の歩みに思いを致しながら、議事機関の本来の役割である「民意の統合」について考える一年にしたいと切願しております。

本年も私たちに皆様の貴重なご意見を賜りますよう、よろしく願いいたします。



墨田区自由民主党・無所属 幹事長
坂井 ユカコ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。本年は60年に一度の午年、昨年の新政権誕生を契機に、新たな時代が動き始めたと感じています。区議会自民党は第一会派として、引き続き都・国との連携を大切に、区政の発展と福祉増進に取り組んでまいります。幹事長として、皆様の思いに丁寧に向き合い、地域の課題解決とより良いまちづくりを一歩ずつ進め、墨田区の未来を皆様と共に築いていきたいと考えています。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

代表質問



福田はるみ議員



動画はコチラ

令和8年度
予算編成について

問 新基本構想初年度として、堅調な歳入状況をどのように評価し、学校改革等の将来需要を見据えた予算編成を行うのか。また、長期化する物価高騰に対し、国を待たず迅速な区独自支援を行う考えを問う。

答 税込等の伸びを背景に基金を積み立て、安定した財政基盤を構築してきた。先行き不透明な中でも人が主役の施策を的確に推進する。物価高には補正予算により速やかに対応する。

バリアフリーの
まちづくりについて

問 バリアフリー基本構想等の策定に向けた進捗状況を問う。小村井駅バリアフリー対策の早期改善、今後新型有料特急が導入される予定の押上駅周辺のまちづくりについて混雑対策と将来を見据えた整備方針について問う。

答 アンケートやまち歩き点検を通じて意見を収集し、基本構想案と重点整備地区を整理した。小村井駅は来年度着手の意向が示され、押上駅は新体制で関係機関と協議を進める。



基金・債券運用の在り方
及び情報発信について

問 基金目標値の再設定、金利上昇局面における債券運用の拡大と安全性確保、併せて区民に対する運用状況の情報発信の充実について所見を問う。

答 現行計画の目標は達成しており、次期計画では施設改善需要や物価高を踏まえ具体的目標を設定する。債券運用は専門家の知見を活用し、運用実績等を来年10月以降公開する。

高齢者福祉施策について

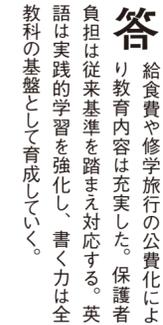
問 補聴器購入助成の更なる充実、高齢者の外出促進に向けたシルバースタンプ支援、通いの場の検証と周知改善、公園の健康器具整備について問う。

答 補聴器助成は拡充してきたが、価格動向等を踏まえ見直しを検討する。シルバースタンプ支援は他区事例を注視し助成制度の実施について検討していく。通いの場は大学連携で効果検証を行い、また高齢者向けの健康器具整備も進める。

教育施策について

問 教育費無償化に関する区の明確な基準、体験型英語教育の更なる充実、生成AI時代に対応した国語教育における「書く力」の育成方針について問う。

答 給食費や修学旅行の公費化により教育内容は充実した。保護者負担は従来基準を踏まえ対応する。英語は実践的学習を強化し、書く力は全教科の基盤として育成していく。



一般質問



大門しろう議員



動画はコチラ

各種選挙における投票率
向上に向けた取組について

問 若年層の投票率向上について三本伺う。①若年層の投票率の分析、課題認識について②期日前投票所の場所や運営の在り方を見直す考えはあるか③「選挙のはなし」の改善に加え、北斎の投票証明書を活用した、若者の初投票を記念で残せる仕組みの導入について

答 ①令和6年に実施された選挙では、20代の投票率が他年齢層と比較して低い傾向にある。②まずは公共施設を活用して対応していきたいと考えている。③「選挙のはなし」は、若者が区政に興味を持つことができるよう、見直しを図る。投票証明書の活用は、初投票の記念となるよう、合わせて検討していく。

期日前投票所にレバーを回してカプセルイオウが出るマシンを設置し、子ども向けにオリジナルグッズを配ることで、子どもにとっても「楽しい記憶」が付随し、家族ぐるみでの来場動機を強化することが可能と考えるが、見解を伺う。

答 投票所内の管理上の課題など、他自治体における実施事例を研究しながら、投票所以外の選挙啓発の機会における実施も含め、どのようなことができるか検討していく。



小学校の学校選択制度が
町会活動の担い手確保に
与える影響と対応について

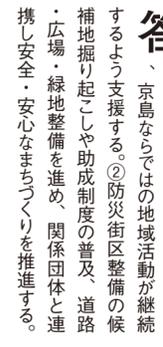
問 区内では町会・自治会の担い手不足が深刻化している。①学校選択制度により地域・学校・町会のつながりが弱まる中、町会活動を継続可能にするためのビジョンと支援方針を伺う。②通学区域を越えて住民が地域活動に参画できる仕組みをどのように構築するのか。

答 ①若者世代に向け、SNS等のデジタル活用講座の実施や町会情報発信アプリ導入の検討など、支援の充実に努める。②青少年育成委員会や連合町会の地域イベントを通じ、交流の場を広げ、通学区域を越えた連携を推進する。

京島地区の
まちづくりについて

問 京島地区では老朽木造住宅の建替え支援等により防災性向上が進められてきた。①取組をさらに推進し地域の安全性を高めるため、区はどのような方向性でまちづくりを進めるのか。②事業継続に向けた具体的な整備の考え方を伺う。

答 ①取組の積極的な情報発信を行い、京島ならではの地域活動が継続するよう支援する。②防災街区整備の候補地掘り起こしや助成制度の普及、道路・広場・緑地整備を進め、関係団体と連携し安全・安心なまちづくりを推進する。



障害者が「親なき後」も
地域で暮らすために

問 現在、八広で重度身体障害者向けグループホームの建設工事が進んでいる。「すみだで暮らし続けたい」との想いを叶える施設になることを願う。障害者向けグループホームの現状について認識と課題を区長に問う。

答 障害福祉総合計画において、サービスの利用状況を推計し、必要なサービス提供を計画的に実施している。訪問系サービスや日中活動系サービス事業者など多様な地域の担い手と連携した地域におけるサービスの基盤づくりが課題であると認識している。

本区独自の補助施策と
計画の方向性について

問 グループホーム運営事業者を積極的に区内へ誘導するため、施設整備補助等の施策を区として打ち出すべきと考えるが、区長の見解を問う。併せて次期基本計画におけるグループホーム等の整備に対する区の姿勢を問う。

答 区独自の補助制度の導入は有用であると考えているため、現在整備中のグループホームの事業効果等を参考に、二丁調査の結果を踏まえ、次期障害福祉総合計画の改定の中で検討する。それと同時に、グループホームの位置付けや供給方針、必要数も戦略的に検討する。



小林しょう議員



動画はコチラ